

10/14 木

西島で日米大規模訓練

ちょうどから31日まで

陸上自衛隊と米海軍隊

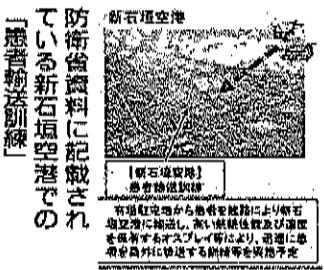
による最大規模の共同訓練「フレリュー・ド・ゴン」が14日から31日まで、九州・沖縄を中心

に実施されます(地図)。昨年までは北海道で行われており、九州・沖縄での実施は初めてです。これまでも同訓練は米戦略に基づき「対中國」を想定していましたが、訓練場所が南西諸島へと移り、その性格が強まっていきます。

特に注目されるのが、沖縄の石垣島(石垣市)への陸面アーチス

フレイの初飛来です。オブレイは「患者輸送訓練」と称して、新石垣空港を使用。沖縄県は使用自衛を要請しましたが、防衛省は却下しました。

「石垣島の平和と自然を守るために」と「防衛省は却下しました。



強まる「对中国」民間空港利用も

主な訓練場所



傷病兵を島外に輸送する
ことを想定した訓練であ
り、「住民を助けるため
の訓練ではない」と指
摘。「訓練についての説
明もない、住民が蚊帳の
外に寝かされている。島が
戦場になることを想定し
た訓練はやめるべきだ」と主張します。

「石垣島の平和と自然を
守るために」と「防衛省は却下
しました。」

九州では田出生台(ひ
じゅうせいだい)演習場(大
分県由布市など)、十文
文書で、南西諸島の戦場
化を想定して「南西地域
における空港、港湾等を
整備・強化し、『平素か
らの訓練で使用する』

(国家防衛戦略)と書
かれていない場合、C
H-47ヘリが与那国空港を
使用する可能性があると
しています。

九州では田出生台(ひ
じゅうせいだい)演習場(大
分県由布市など)、十文
文書で、南西諸島の戦場
化を想定して「南西地域
における空港、港湾等を
整備・強化し、『平素か
らの訓練で使用する』

(国家防衛戦略)と書

かれていない場合、C
H-47ヘリが与那国空港を
使用する可能性があると
しています。

九州では田出生台(ひ
じゅうせいだい)演習場(大
分県由布市など)、十文
文書で、南西諸島の戦場
化を想定して「南西地域
における空港、港湾等を
整備・強化し、『平素か
らの訓練で使用する』

(国家防衛戦略)と書

かれていない場合、C
H-47ヘリが与那国空港を
使用する可能性があると
しています。

九州では田出生台(ひ
じゅうせいだい)演習場(大
分県由布市など)、十文
文書で、南西諸島の戦場
化を想定して「南西地域
における空港、港湾等を
整備・強化し、『平素か
らの訓練で使用する』

(国家防衛戦略)と書

かれていない場合、C
H-47ヘリが与那国空港を
使用する可能性があると
しています。

参加規模は自衛隊約5
000人、米海兵隊約1
400人。同訓練は東・
南シナ海で離島を奪取
し、ミサイル攻撃と進出
の拠点を構築する「遠征
前進基地作戦」(EAB
O)の具体化を図るのが
目的です。